

プロポーズの言葉コンテスト 県内2組優秀賞に 都内

(2014/5/30 08:13)

6月の第1日曜日の「プロポーズの日」（ことしは1日）にちなんで、静岡市のNPO法人地域活性化支援センターが毎年開催している「全国プロポーズの言葉コンテスト」の授賞式が29日、東京・六本木ヒルズ展望台で開かれた。県内からは2組のカップルを結んだ“愛の言葉”が優秀賞に選ばれた。

受賞したのは下田市の農業黒川佳徳さん（42）と浜松市西区の会社員内山順広さん（31）のプロポーズ。歴史好きの黒川さんは戦国武将の年表を見ながら「オレの年表におまえを参加させてもいいか？」と妻

康子さん（42）に問い掛けた。普段なかなか愛の言葉を口に出さないという内山さんは「カーテンの色は何色がいい？」とメールで妻加奈子さん（32）に求婚した。

授賞式に参加した康子さんは結婚式で佳徳さんから巻物の年表をもらったエピソードを紹介し、「これからも2人で年表を足していきたい」と笑顔を見せた。加奈子さんは「死ぬまでに『好きだ』と言わせたい」と照れ屋の順広さんにメッセージを送った。

全国から2033点の応募があり、22点が入賞した。授賞式には審査員を務めたデザイナーの桂由美さんや華道家の假屋崎省吾さん、タレントのIMALU（イマル）さんらが出席し、記念品を渡した。

プロポーズにふわさしいスポット「恋人の聖地サテライト」の銘板授与もあり、県内からはホテルなど2施設が受賞した。



授賞式でプロポーズの言葉を紹介する黒川康子さん（右）と内山加奈子さん（手前）＝29日午後、東京・六本木ヒルズ展望台